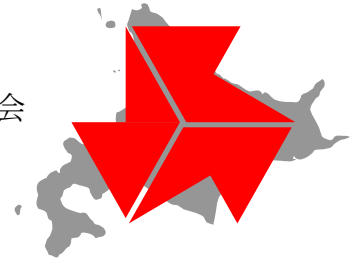


第77回北海道高等学校ハンドボール選手権大会

兼 高松宮記念杯第77回全日本高等学校ハンドボール選手権大会北海道予選会



開 催 要 項

主 催 北海道高等学校体育連盟 北海道教育委員会 北海道ハンドボール協会
後 援 室蘭市 室蘭市教育委員会 室蘭市スポーツ協会
主 管 北海道高等学校体育連盟ハンドボール専門部 北海道高等学校体育連盟室蘭支部 室蘭ハンドボール協会
当番校 北海道室蘭栄高等学校 〒050-0083 室蘭市東町3丁目2番5号 (TEL: 0143-44-3128 FAX: 0143-44-3129)

1 期 日	令和8年6月16日(火)～19日(金)	開場予定時間
	6月16日(火) 14:30 代表者会議 (栗林商会アリーナ 多目的ホール) 14:00	
	代表者会議終了後 開 会 式 (栗林商会アリーナ 多目的ホール)	
	6月17日(水) 9:00 競 技 開 始 (栗林商会アリーナ メインアリーナ) 8:00	
	6月18日(木) 9:00 競 技 開 始 (栗林商会アリーナ メインアリーナ) 8:00	
	6月19日(金) 9:00 競 技 開 始 (栗林商会アリーナ メインアリーナ) 8:00	
	競技終了後 閉 会 式 (栗林商会アリーナ メインアリーナ)	

2 会 場 ①栗林商会アリーナ 〒051-0023 北海道室蘭市入江町1-6-2 (TEL0143-84-6270)

3 競技規定 (1) 令和8年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則、及び北海道高体連ハンドボール専門部申し合わせによる。
(2) 大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球(人工皮革)とする。全日程、モルテンを使用する。

4 競技方法 トーナメント方式

5 引率責任者および監督

引率責任者は当該校の職員で、監督は学校長の認めた教職員とする。

ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。

なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教職員とする。

校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

6 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加資格を得た者に限る。

(3) (公財)日本ハンドボール協会に加盟登録されたチーム・選手であること。

(4) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(5) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム

詳細は、(公財)全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規定」と道専門部が定める「複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

イ 統廃合対象チームによる合同チーム。(統廃合完了前2年間に限る)

(7) 転校6か月未満の生徒は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。

(8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。

(9) 「北海道高等学校体育連盟主催大会参加者災害補償制度」に加入した者、または加入の意思のある者とする。

(10) 参加資格の特例

ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で当該競技要項により、大会参加資格を満たすと判断され各支部高体連が推薦した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ (4)の但し書きについては、学校の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

(同一学年での出場は1回限り)

[大会参加資格の別途に定める規定]

I 北海道高等学校体育連盟加盟以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。

II 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを遵守すること。

- イ 参加を希望する学校にあつては、年齢、修業年齢ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- ウ 各学校にあつては、支部の予選会から出場が認められる。
- エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均等を失っておらず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際して守るべき条件

- ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 大会参加に際しては、責任ある職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

7 参加制限 1チームの選手登録人数は定めない。(15名出場可) 監督1名、役員3名とする。参加申込書1に記載している15名を基本とすること。16名以上登録しているチームで、申込書1以外のメンバーをベンチ入りする場合は、メンバー表を提出すること。但し、ベンチ入りに際して監督1名、役員3名(含む主務)及び選手は、日本ハンドボール協会の登録証を持参し、大会申込書及びプログラムに記載された者であること。外国人留学生の参加については、大会登録選手15名のうち2名まで(競技出場も7名中2名まで)とする。

8 参加申込 * 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
(全道高校体育大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて参照)

(1) 申込方法 参加申込書(様式1)を3部作成し、1部は出場校控えとする。残り2部に校長印を押印し、郵送で下記ア・イに申し込むこと。また、プログラム作成用にメンバー用紙(様式2)とチームの写真データを当番校事務局までメールにて送付すること。

*なお、参加申込書(様式1)、メンバー用紙(様式2)は、北海道室蘭栄高等学校ホームページ
(HPアドレス: <http://www.muroransakae.hokkaido-c.ed.jp/>)よりダウンロードすることができます。

(2) 申込先 ア 当番校 〒050-0083 室蘭市東町3丁目29番5号 北海道室蘭栄高等学校
高体連全道大会ハンドボール大会事務局 北井 綾司
(TEL: 0143-44-3128 FAX: 0143-44-3129 mail: r-kitai4487@hokkaido-c.ed.jp)

イ 専門部 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条3丁目 北海道札幌月寒高等学校
北海道高体連ハンドボール専門部 亀山 耕司
(TEL: 011-851-3111 FAX: 011-851-3112 mail: kameyama7hand@hokkaido-c.ed.jp)

(3) 申込期日 令和8年5月29日(金) 必着

9 参加料 選手1名につき ¥2,500(申込みと同時に納入)ただし16名以上申し込んでも、支払いの上限人数は15名とする。

振込先 室蘭信用金庫 東町支店 普通口座 5640014
室蘭栄高等学校 校長 松田 素寛

10 宿泊 当番校においての斡旋は行わない。

11 表彰等 (1) 男女とも1位チームには、賞状・優勝杯・優勝旗・個人メダルを授与する。

(2) 男女とも2位・3位には賞状を授与する(3位表彰は実施しない)。

(3) 男女とも1位チームに全国大会出場資格を与える。

12 諸会議 (1) 抽選会 令和8年6月2日(火) 10:00 北海道室蘭栄高等学校 (高体連専門部による代表抽選とする)

(2) 専門部会議 令和8年6月16日(火) 9:30 栗林商会アリーナ 大会議室

(3) 審判会議 令和8年6月16日(火) 13:00 栗林商会アリーナ 大会議室

(4) 代表者会議 令和8年6月16日(火) 14:30 栗林商会アリーナ 多目的ホール

※代表者会議はチーム代表者及び生徒1名の参加をお願いします。

13 連絡事項 (1) 開会式は代表者会議終了後に実施する。

(2) ユニフォームは地色と背番号の区別がはっきりしているもので、明確に区別できる2色を用意すること。

(3) 公式練習は、設定しない。

(4) 松ヤニに類するものの使用は禁止とする。(両面テープのみ可)

(5) 参加者(選手・役員)は、健康保険証を持参すること。

(6) 引率責任者は、選手の全ての行動に責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。

(7) 代表者の個人情報は、大会関係資料送付の際に利用し、チーム役員・選手の氏名等を大会プログラムに掲載する。

(8) 大会については大会事務局(申込場所に同じ)まで問い合わせること。